

広川町の授産施設利用者

日英画家と大作描く



言語障害のハンディを乗り越えて制作活動を続ける岐阜県可児市の山本良比古さん(62)。

施設名にちなみ「太陽と緑の仲間」と名付けられた作品は、横180センチ、縦90センチ。下書きに沿ってルールさんが太陽、山本さんが建物に彩色した後、利用者がそれぞれ樹木や風景に思い思いの色を付けていった。

完成した絵は、2人の作品とともに6日まで、同町日吉の町産業展示会で展示される。入場無料。サングリーン110942(27)2555。

知的障害者の通所授産施設「サングリーン」(川崎和子理事長)設立20周年記念交流会が3日、広川町藤田の同施設で開かれ、利用者40人が日英の

画家2人と共同で大きな絵を描き上げた。写真。招かれたのは、イギリス人でフランス在住のジヤネット・ルールさん(68)と、知的障害、難聴、